

2. 書の文化の伝承

◎第4回大仏書道大会「書くことは楽しい in 奈良」を開催

実施日 平成25年10月26日(土)～27日(日)

会場 東大寺大仏殿西回廊・東大寺総合文化センター金鐘ホール

実施内容

○全国の高等学校、大学より作品の募集 入選作100点の展示

作品応募校 62校

作品応募点数 1248点

○大学生、高等学校生による席書会の実施

席書会参加者 36名

○講演会の開催

演題 大仏様を造った字

講師 馬場 基氏 (奈良文化財研究所 主任研究員)

聴衆者 150名

10月26日(土)から27日(日)にかけての2日間、東大寺の回廊にて100点の書道作品を展示しました。若者らしい創造性あふれる作品、書の可能性を感じさせるような作品を意識して、東大寺の森本公誠長老や奈良県教育委員会の方とともに選定しました。この「大仏書道大会」は平城遷都千三百年にあたる2010年から始まり、今回で4回目です。全国から1200点以上もの多数の応募がありました。



特別賞7点の入選者

奈良県知事賞	佐野 智香さん	福岡県立糸島高等学校
奈良県教育長賞	樋口 一葉さん	大阪府立今宮高等学校
奈良市長賞	福部 愛海さん	埼玉県立草加高等学校
奈良市教育長賞	西村 ゆうさん	北海道清水高等学校

東大寺賞	山口 知剛さん	東大寺学園高等学校
朝日新聞社賞	大内田菜摘さん	北海道清水高等学校
フォーラム理事長賞	宇野菜摘美さん	埼玉県立草加高等学校



2日目は展示スペースの隣で席書会を催し、大学生・高校生36名が参加しました。上司永慶・東大寺教学執事から「大仏さま造頭のころ」をご講話いただいたあと、華嚴経のエッセンスが凝縮された「華嚴唯心偈」の写経と創作作品を書きあげ、大仏殿にて奉納しました。創作作品では、彩色した鮮やかなものもあり、書の新しい形を感じさせられました。

